



# 多田の里 だより



多田小学校通信

令和5年10月2日号 ミマモルメ配信

## 自律

学校教育目標に【『自律』（じりつ）自分で考える子】があります。自律という言葉の意味は分かるようで説明しようとするとうまくできない言葉です。国語辞典によると「自分で決めたまりに従って、物事を行うこと」（旺文社標準国語辞典）とあります。このように説明されると子どもたちも理解してくれることでしょうか。私たち大人にとっても自律した大人であるのか、自律した学校であるのか。なかなか難しい自分との哲学対話のようでもあります。『自律』の対義語は『他律』です。同じ国語辞典で確認すると「自分の考えによるのではなく、他からの命令によって行動すること」でした。他とはいったい何のことを示しているのでしょうか。

「先生〇〇していいですか？」先生に聞いてから行動していますが、これで良いのかの問いです。今、学校では教職員でもう一度このことを考え直しています。子どもたちの『自律』を促すために、そもそも『自律』とは何か、それぞれの学年にとってどんな姿になれば良いのか、その総体が学校教育目標の『自律』の実現へとつながると考えています。ご家庭ではどうでしょうか？地域社会の中ではどうでしょうか？小学生はケアされる側の存在として見られがちです。しかし、着実に『自律』への階段を本人たちは気付かず楽しんで登っていきます。私たち大人もかつてそうでした。今、もう一度考えるときに多田小学校はあるのだと思っています。子どもたちとともに考え続けていきたいテーマです。

## 自然学校にて～考動（こうどう）～



5年生9月の大きな行事、自然学校がありました。4泊5日子どもたちは泊まり続け、先生は2泊3日で交代です。しかし、子どもたちは先生たちが交代することに不安を抱いているようには見えませんでした。しっかりしています。その中の出来事です。「チャレンジタイム」が学級ごとにありました。何をするかクラスで話し合い、途中で困ったときにも話し合う活動です。先生やリーダーたちはできるだけ口をはさみません。子どもたちが主体的に本気で話し合っていました。本気になればなるほど、言葉の端々が尖り

始めます。そのことに気付いて、変えようと試みる子どもも現れます。時には口喧嘩にもなります。この過程が重要だと先生たちは見ていました。どうすれば本気の話し合いができるのか、だれも傷つかずにできるのか。たくさんの経験、失敗を重ねてできるようになるのでしょうか。そんな途中経過を見たような気がします。民主主義とは何か、子どもたちを見つめながら考えていました。

## 今後の予定について

9月29日現在 各学年の予定は学年だよりをご覧ください

### はじめてみました

9月28日（木）の放課後、5、6年生の希望者による『プロジェクト TADA 2023』（PT2023）の第一回会議を校長室で行いました。『自律』を目指した参加者による話し合い活動です。学校のこと、社会のこと、おとなのこと、子どものこと・・・テーマは何でもあります。話し合いに参加している人が自由に語り、お互いがそこにいることを尊重し、安心して意見し、最終的に合意形成を目指す活動です。まだまだ始めたばかり、この先どうなるか、何が出てくるか、わくわくしながら進んでいきます。

会議の中で聞いてみました。「なんか不満ないの?」「ない〜」。ちょっと予想外でした。「せんせいが!・・・」とか「親が!!・・・」とか出てくるだろうと思っていましたが、出てきたのは「5分休みが短い」などでした。参加してくれた人たちの日頃の生活が、充実しているのかもしれません。しかし、自身の生活を考えながら、横にいる人だけでなく、身近にいない人の存在にも意識を向けられる人へと成長してほしいという願いもあります。これから先どうなるかわかりませんが、子どもたちと一緒に活動していきたいと思います。5、6年生と一緒に参加したい人は、校長室に来てください。途中参加もOKです。（成績にはまったく関係ありません）